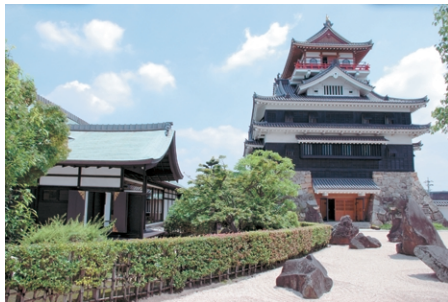


清洲城



清洲城広場に築城された清洲城天守閣（平成元年完成）。朱塗りの橋は、大手橋。清洲公園には、古城跡、織田信長の銅像などがあり、四季を通して散策が楽しめます。

焼き兜（信長公御召甲）



総見院が所蔵するものであり、その箱書によると、本能寺の変時着用していたもので、その直後、信雄が探しあてたものといわれています。また総見院には他にも貴重な文化財を所蔵しており、清須の歴史を階間見ることが出来ます。

清須市はるひ美術館



清須市はるひ美術館



清須市キャラクター きよ丸

清洲公園



園内の一段高くなっている場所には、織田信長の銅像が建ちます。この銅像は、織田信長公二十六歳の一五六〇年（永禄二年）、「桶狭間の戦い」に出陣する姿を模した銅像で、桶狭間の方向を見据えています。桜の名所としても知られ、木々の緑に包まれた広場には芝生が広がり、安らぎの場となっています。

あっち
散策
こうち



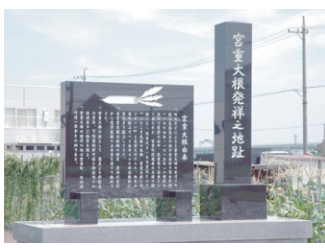
清須市キャラクター うる丸

長谷院（多宝塔）



尾張藩主徳川斉朝の寄進により天保五年（一八三四年）に建立。軒瓦には徳川家の三葉菜の紋があります。また、仁王門があるほか、周辺には多くの史跡が点在しています。

青首大根の原種の地が、春日地区内宮重であるといわれており、みやしげふれあい農園の東に碑が建立されています。



問屋記念館



平成四年に下小田井市の創設者の一人といわれる山田九左衛門家の住居を現在の場所に移築復元し、青物問屋の商いと暮らし様子を再現しています。

瑞正寺（宝塔）



罪人の菩提を弔う為に建立されました。八年の歳月を要して文化十二年（一八一五年）完成。高さは約四・五メートル。

にしび夢たいこん

江戸時代の「尾張名所図会」に描かれた大根を担いだ裸男をモチーフに製作されたこのモニュメントは、市場があった当時の記憶を人々に語りかけます。



一休庵・飴茶庵



町屋を改修し現在に再現しました。「屋根神様」のお社を載せており、当手を偲ぶことができます。飴茶庵には地階キャラリーがあり、個展などが開催できるよう貸し出しもされています。



清須市役所

お問い合わせは

〒452-18569
愛知県清須市須ヶ口1238番地
TEL 052-1400-2911(代表)
FAX 052-1400-2963
http://www.city.kiyosu.aichi.jp/

